



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本化成株式会社

コード番号 4007 URL <http://www.nkchemical.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 村田 光司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 関 信哉

TEL 03-5540-5861

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,313	1.3	377	498.4	377	236.6	284	300.0
28年3月期第1四半期	7,222	△18.0	63	△73.6	112	△61.1	71	△68.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 277百万円 (168.9%) 28年3月期第1四半期 103百万円 (△59.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.70	—
28年3月期第1四半期	0.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	32,311	13,132	40.6
28年3月期	32,723	13,275	40.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 13,132百万円 28年3月期 13,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,300	4.2	450	243.5	460	125.5	320	162.3	3.05
通期	34,500	5.0	1,120	0.7	1,390	△11.3	760	△15.1	7.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	105,115,800 株	28年3月期	105,115,800 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	36,739 株	28年3月期	36,679 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	105,079,106 株	28年3月期1Q	105,080,042 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

(説明資料) 平成29年3月期 第1四半期決算概要

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用情勢の改善はみられるも、金融・為替市場の不安定化を受けての企業収益や個人消費の足踏み状態が続き、中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響も懸念されるなど、停滞感を払拭しきれない状況が継続しました。

このような情勢の下、当社グループは、新中期経営計画「NKC-Plan 20」に掲げている「安定的収益構造の確立」に向け、拡販、合理化・効率化、技術開発の迅速化等、収益向上諸施策に取り組んでおります。

こうした中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、主要原料であるアンモニア及びメタノール国際市況下落の影響等の減収要因があったものの、合成石英粉、紫外線硬化性樹脂、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)の需要が概ね堅調に推移したことに加え、電子工業用高純度薬品の拡販努力による販売数量増、エンジニアリング事業における大型案件の検収、更には一部製品の前倒し需要対応等の影響もあり、前年同期比増収・増益となりました。

具体的には、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,313百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は377百万円(前年同期比498.4%増)、経常利益は377百万円(前年同期比236.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は284百万円(前年同期比300.0%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(無機化学品事業)

アンモニア系製品は、主要顧客向け販売の減少に加え、アンモニア国際市況が前年同期に比べ下落したこと等から、販売数量、売上高とも減少しました。合成石英粉は、半導体関連分野が堅調に推移し、販売数量、売上高とも増加しました。電子工業用高純度薬品は、半導体関連分野が堅調に推移したことに加え、拡販に注力した結果、販売数量、売上高とも増加しました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)は、需要が堅調に推移したことから、販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は3,476百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

(機能化学品・化成品事業)

紫外線硬化性樹脂は、需要が堅調に推移したこと等から、販売数量、売上高とも増加しました。脂肪酸アマイド、アクリレート等の機能材は、販売数量、売上高とも概ね前年同期並みとなりましたが、TAIC®(ゴム、プラスチック架橋助剤)は、激しい市場競争が継続する中、主要顧客向けの販売が低調であったこと等から、販売数量、売上高とも減少しました。

メタノールは、前年同期はスポット需要があったことの反動及び国際市況が前年同期に比べ下落したことから販売数量、売上高とも減少しました。ホルマリン及び木材加工用接着剤は、販売数量が微減となったことに加え、メタノール国際市況の下落の影響等もあり、売上高は減少しました。

その結果、全体の売上高は2,519百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

(エンジニアリング事業)

前期からの大型繰越受注案件の検収があったことから、売上高は967百万円(前年同期比138.8%増)となりました。

(貨物運送・荷役事業)

新規案件の獲得等により、売上高は286百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

(その他)

有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売減等により、売上高は24百万円(前年同期比27.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比し412百万円減少し、32,311百万円となりました。これは、主に流動資産のその他等が増加したものの、売上債権等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比し269百万円減少し、19,179百万円となりました。これは、主に流動負債のその他等が増加したものの、仕入債務及び賞与引当金等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比し143百万円減少し、13,132百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益等が増加したものの、支払配当金により利益剰余金等が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.6%（前連結会計年度末は40.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に発表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成28年8月5日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084	1,475
受取手形及び売掛金	9,650	7,946
商品及び製品	2,474	2,408
仕掛品	661	685
原材料及び貯蔵品	1,088	1,076
その他	868	1,925
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,824	15,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,511	3,543
機械装置及び運搬具(純額)	2,028	2,170
土地	4,872	4,872
建設仮勘定	423	169
その他(純額)	424	439
有形固定資産合計	11,258	11,193
無形固定資産		
その他	78	72
無形固定資産合計	78	72
投資その他の資産		
その他	5,573	5,542
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	5,563	5,532
固定資産合計	16,899	16,797
資産合計	32,723	32,311

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,125	4,381
短期借入金	5,947	5,877
未払法人税等	36	92
賞与引当金	292	89
その他	1,774	2,442
流動負債合計	13,174	12,881
固定負債		
長期借入金	2,225	2,253
役員退職慰労引当金	73	68
退職給付に係る負債	3,875	3,869
その他	101	108
固定負債合計	6,274	6,298
負債合計	19,448	19,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593	6,593
利益剰余金	6,800	6,664
自己株式	△7	△7
株主資本合計	13,386	13,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	21
退職給付に係る調整累計額	△143	△139
その他の包括利益累計額合計	△111	△118
純資産合計	13,275	13,132
負債純資産合計	32,723	32,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,222	7,313
売上原価	5,915	5,667
売上総利益	1,307	1,646
販売費及び一般管理費	1,244	1,269
営業利益	63	377
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	7
受取賃貸料	30	30
固定資産受贈益	22	—
その他	17	7
営業外収益合計	85	44
営業外費用		
支払利息	18	15
為替差損	—	14
持分法による投資損失	17	12
その他	1	3
営業外費用合計	36	44
経常利益	112	377
税金等調整前四半期純利益	112	377
法人税、住民税及び事業税	128	157
法人税等調整額	△87	△64
法人税等合計	41	93
四半期純利益	71	284
親会社株主に帰属する四半期純利益	71	284

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	71	284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△11
退職給付に係る調整額	6	4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	32	△7
四半期包括利益	103	277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103	277
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学 品事業	機能化学 品・化成 品事業	エンジ アリング 事業	貨物運 送・荷役 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	3,660	2,816	405	264	7,145	33	7,178	44	7,222
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	19	10	8	37	85	122	△122	—
計	3,660	2,835	415	272	7,182	118	7,300	△78	7,222
セグメント利益 又は損失(△)	52	15	△68	10	9	5	14	49	63

(注)1. 「その他」の区分は、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売 による利益	1
その他の調整額※1	80
全社費用※2	△32
合計	49

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学 品事業	機能化学 品・化成 品事業	エンジ アリング 事業	貨物運 送・荷役 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	3,476	2,519	967	286	7,248	24	7,272	41	7,313
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	13	14	7	34	75	109	△109	—
計	3,476	2,532	981	293	7,282	99	7,381	△68	7,313
セグメント利益 又は損失(△)	162	136	73	13	384	△5	379	△2	377

(注)1. 「その他」の区分は、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売 による損失(△)	△1
その他の調整額※1	38
全社費用※2	△39
合計	△2

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

平成29年3月期 第1四半期決算概要

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)	増減	
			金額	率
売上高	7,313	7,222	91	1.3%
営業利益	377	63	314	498.4%
金融収支	△ 8	△ 2	△ 6	※1
その他営業外	20	68	△ 48	※2
持分法損益	△ 12	△ 17	5	※3
経常利益	377	112	265	236.6%
税引前利益	377	112	265	236.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	284	71	213	300.0%
1株当り四半期純利益	2円70銭	0円68銭		

※1 金融収支の主な内訳

	H28/6	H27/6	差
受取配当金	7	16	△9
支払利息	△15	△18	+3

※2 その他営業外差異主な内訳

	H28/6	H27/6	差
固定資産受贈益	—	22	△22
為替差損益	△14	2	△16

※3 小名浜海陸運送

	H28/6	H27/6	差
	△12	△17	+5

①セグメント別売上高(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)	増減
報告セグメント	無機化学品	3,476	3,660	△ 184
	機能化学品・化成品	2,519	2,816	△ 297
	エンジニアリング	967	405	562
	貨物運送・荷役	286	264	22
その他	24	33	△ 9	
調整額	41	44	△ 3	
計	7,313	7,222	91	

合成石英粉は半導体関連分野が堅調に推移したことから増収となるも、フッ素系製品は国際市況が下落したことによる影響及び主要顧客向け販売減少等により、対前年同期比減収

紫外線硬化性樹脂は需要が堅調に推移したこと等から増収となるも、MA-7は国際市況が下落したことによる影響及びTAIC[®](ゴム、プラスチック架橋助剤)は主要顧客向け販売が減少したこと等から、対前年同期比減収

前期からの大型繰越受注案件の検収があったことから、対前年同期比増収

新規案件の獲得等により、対前年同期比増収

有機溶剤等の蒸留・精製業については主要顧客向け販売減等により、対前年同期比減収

上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)	増減
報告セグメント	無機化学品	162	52	110
	機能化学品・化成品	136	15	121
	エンジニアリング	73	△ 68	141
	貨物運送・荷役	13	10	3
その他	△ 5	5	△ 10	
調整額	△ 2	49	△ 51	
計	377	63	314	

合成石英粉、AdBlue[®] 需要が堅調に推移し、対前年同期比増益

紫外線硬化性樹脂の需要が堅調に推移したこと等に加え、一部機能化学品における前倒し需要対応等もあり対前年同期比増益

前期からの大型繰越受注案件の検収があったこと等から、対前年同期比増益

新規案件の獲得等により、対前年同期比増益

有機溶剤等の蒸留・精製業については主要顧客向け販売減等により、対前年同期比減益

原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示

2. 連結比較貸借対照表

	当第1四半期 連結会計期間末 (H28.6.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減		当第1四半期 連結会計期間末 (H28.6.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減
現預金	1,475	1,084	391	有利子負債	8,130	8,172	△ 42
売上債権	7,946	9,650	△ 1,704	仕入債務	4,381	5,125	△ 744
たな卸資産	4,169	4,223	△ 54	その他負債	6,668	6,151	517
固定資産(有形・無形)	11,265	11,336	△ 71	株主資本	13,250	13,386	△ 136
投融資等	5,532	5,563	△ 31	その他の包括利益累計額	△ 118	△ 111	△ 7
その他資産 ※	1,924	867	1,057				
資産合計	32,311	32,723	△ 412	負債・純資産合計	32,311	32,723	△ 412

(注) 自己資本=純資産-非支配株主持分

D/Eレオ=有利子負債/自己資本

自己資本	13,132	13,275	△ 143
自己資本比率	40.6%	40.6%	0.0%
有利子負債	8,130	8,172	△ 42
D/Eレオ	0.62	0.62	0.00

※ 増減内訳: 短期貸付金 +999 等

3. 連結キャッシュ・フロー

	当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)
営業活動によるCF	1,970
投資活動によるCF	△1,169
フリー・キャッシュ・フロー	801
財務活動によるCF	△408
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の 増減	391

税引前利益 377、減価償却費 236、売上債権の減少額 1,704、その他流動負債の増加額 617、仕入債務の減少額 △744、賞与引当金の減少額等 △220

短期貸付金の増加額 △999、設備投資等 △170

配当金の支払 △366、借入金の返済等 △42

(参考)

前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)
883
△308
575
△436
0
139

4. 連結通期業績予想

(平成28年8月5日発表)

	29年3月期			28年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期		金額	率
売上高	15,300	19,200	34,500	32,871	1,629	5.0%
営業利益	450	670	1,120	1,112	8	0.7%
経常利益	460	930	1,390	1,567	△177	-11.3%
特別損益	-	△300	△300	△194	△106	
税引前利益	460	630	1,090	1,373	△283	-20.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	320	440	760	895	△135	-15.1%
1株当たり当期純利益	3円5銭	4円18銭	7円23銭	8円52銭		
1株当たり配当金(期末のみ)		4円	4円	4円		

①セグメント別売上高

	29年3月期			28年3月期 実績	増減		
	上期	下期	通期				
報告 セグメント	無機化学品	7,400	9,200	16,600	15,738	862	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、AdBlue [®] 等の拡販努力により増収
	機能化学品・化成品	5,250	6,250	11,500	11,120	380	ホルマリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復等により増収
	エンジニアリング	1,900	3,000	4,900	4,560	340	工事受注回復等により増収
	貨物運送・荷役	620	590	1,210	1,163	47	主要顧客向け運送量増等により増収
その他	50	70	120	122	△2	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減収	
調整額	80	90	170	168	2	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示	
計	15,300	19,200	34,500	32,871	1,629		

②セグメント別営業利益

	29年3月期			28年3月期 実績	増減		
	上期	下期	通期				
報告 セグメント	無機化学品	180	330	510	392	118	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、AdBlue [®] 等の拡販努力により増収
	機能化学品・化成品	180	210	390	381	9	ホルマリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復あるも、機能化学品関連の競争環境激化等により微増
	エンジニアリング	70	90	160	149	11	工事受注努力等により微増
	貨物運送・荷役	30	20	50	59	△9	車両の更新等による経費増により微減
その他	△10	20	10	19	△9	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減益	
調整額	0	0	0	112	△112	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示	
計	450	670	1,120	1,112	8		